

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	耐震性能評価小委員会	主 査 名：山下哲郎 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 シェル・空間構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校体育館や類似の空間構造の耐震性に関する研究と地震被害をとりまとめ、地震後に避難所として機能するために必要な各種の性能を明らかにし、非構造部材も視野に入れた総合的な性能評価、改修方法を提言することを目的とする。 ・ 初年度；東日本大震災における空間構造物の被害事例や耐震補強事例を収集・調査し、体育館に必要とされる各種機能についても議論を進める。また建築学会大会においてパネルディスカッションを開催し、広く情報発信を行う。 ・ 2 年度；初年度の調査結果をもとに非構造部材も視野に入れた総合的な性能評価、改修方法をまとめ、「ラチスシェル構造設計指針（仮称）」に反映する。 	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	主査：山下哲郎（工学院大学） 幹事：立道郁生（明星大学）、松本幸大（豊橋技術科学大学） 委員：石川浩一郎（福井大学）、加藤史郎（豊橋技術科学大学）、川口健一（東京大学）、竹内 徹（東京工業大学）、中澤祥二（豊橋技術科学大学）、松岡祐一（新日鉄住金エンジニアリング）、諸岡繁洋（東海大学）、平塚聖敏（日本大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	2012 年度大会構造部門（シェル・空間構造）パネルディスカッション 「大空間施設の総合的耐震性能を考える—東日本大震災を経験して—」 参加者数 225 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大会パネルディスカッションを開催し、空間構造の耐震性評価、特有の応答挙動、診断法の問題点、要求機能など、多くの参加者に最新の研究成果に基づく情報発信ができた。 2. 東日本大震災の被害の収集、分析は進行中であり、その一環として被害の多かった支承部の実験を小委員会活動として視察した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支承部の耐震性など、診断基準にない項目について評価方法を新たに策定する必要がある。 2. 非構造部材については種類が多すぎるため、議論の対象をある程度絞り込む必要がある。 3. 交通費の問題から、小委員会の参加者が在京委員中心である。